

(別紙 全体計画書)

## 橿原市 世界遺産構成資産ARアプリ作成事業計画

### ○ 計画の内容

橿原市では、令和8年の世界遺産登録を目指している『飛鳥・藤原の宮都』の構成資産である藤原宮跡、本薬師寺跡、菖蒲池古墳を中心として、各資産の歴史的価値の理解を促進するARアプリを令和7年度から令和12年度にかけて毎年度作成し公開する計画である。

これらの資産において過去に実施されてきた発掘調査によって、かつて存在していた宮殿・官衙や寺院といった壮麗な建物や古墳の姿、また、古代社会の様々な実像が明らかにされている。一方で、資産を構成する遺構の多くが地下に埋蔵されており、現状、大部分が未整備であることから、市民や来訪者にとって資産の存在と歴史的価値を理解しづらい状況が続いている。この状況を解決するため、本事業ではデジタル技術を活用して資産現地においてより具体的で分かりやすく、かつ直感的に体感可能な情報コンテンツを新たに提供することで、資産と歴史への理解を深めていくとともに来訪者の増加に繋げていく。これをもって橿原市の歴史遺産に対する愛着を深め、将来にわたり文化財を保護し、継承していく機運を醸成することを目的とする。

具体的な手法としては、資産現地において使用可能なAR（建物の復元CGや発掘調査現場写真の表示等）、資産や古代史についての解説コンテンツ、資産を楽しみ周遊を促進するようなガイドコンテンツ等が考えられる。コンテンツの提供方法としては、来訪者自身が所有するスマートフォンやタブレットで自由に使用できる、より広い利用者に対応可能なARアプリを採ることとする。また、今後さらに増加すると見込まれる外国人来訪者への対応を踏まえ、各コンテンツの多言語化対応も必須項目である。さらに、アプリを作成し公開するだけでなく、アプリを容易に入手し有効に活用できる環境や仕組みの構築も重要である。

藤原宮跡における利用イメージ



○ 計画のスケジュール

令和7年度当初における、本事業の実施計画は下記のとおりである。

計画の初年度である令和7年度は、令和8年の世界遺産登録を目指す『飛鳥・藤原の宮都』構成資産の中核である藤原宮跡を対象として、ARアプリを作成し、一般への公開まで行う。

令和8年度以降は順次、アプリの改良や機能拡充及び各資産のコンテンツ追加を実施する計画である。

※ただし、令和8年度以降の実施作業内容やコンテンツの追加順については、仮のイメージであるため、企画提案に際してはこれにとらわれず自由に案を作成してもよい。

本業務の対象事業

令和7年度 : 藤原宮跡のARアプリの作成と一般公開

次年度以降の計画

令和8年度 : 令和7年度作成アプリの改良・機能拡充、藤原宮跡コンテンツ追加

令和9年度 : 本薬師寺跡のコンテンツ作成

令和10年度 : 菖蒲池古墳のコンテンツ作成

令和11年度 : 藤原宮跡コンテンツ追加、史跡周遊や再訪を促進する機能作成

令和12年度 : 各資産のコンテンツ追加、関連する橿原市内遺跡のコンテンツ作成



藤原宮跡



菖蒲池古墳



本薬師寺跡



本薬師寺跡（東塔跡）